

# ドバイで人気のママチャリ

ドバイでは日本の「ママチャリ」が人気で、中古品にもかかわらず中国製の新品より高値で中東・アフリカ諸国に売られていくのだとか。その理由は？



世界で最も高い建造物のブルジュ・ハリファで有名なドバイ。

**ずらりと並ぶ日本の中古「ママチャリ」。実はここ、中東のドバイです。いまドバイでママチャリが大人気です。**

「ぼろぼろでも使いかけでも、どんなものでも買います」をキャッチフレーズに急成長しているリサイクルショップ「エコリング」(本社姫路市)。

買い取り専門で、買い取ったブランド品などはネットオークションや業者間で売買しています。その「エコリング」が、いま力を入れているのが海外事業。ドバイでは中古自転車(いわゆるママチャリ)が飛ぶように売られています。ドバイ経由で中東やアフリカ諸国に売られていくのです。

日本の中古自転車は中国製の新品より高く取引されるといいます。その理由は、実際に日本で使われていて、日本から持ってきたということが、丈夫で長持ちすることの証明になるからです。

現地では「ジャパン・クオリティ」といわれています。自転車のほか、日本人形やオーディオが特に人気が高いといえます。世界に広がる日本の中古品の動きを追いしました。

ドバイではいわゆる「ママチャリ」(中古品)が人気で、しかも中国製の新品ママチャリは4500円程度だが、日本から持ってきた中古のママチャリ(日本製もしくは日本で流通している中国製品等)は5500円～6500円で取引されているらしく、何故に！と思いますが、そこはジャパン・クオリティだと現地では言われていて、絶対的な日本製への信頼があるそうです。



ちなみに何故ママチャリ？かということ、ドバイの男性の一般的な衣服(白くて長いシャツドレス)がママチャリだと下に長い衣服が引っかからずに、手軽に乗れるのが人気らしいです。

そして、その白くて長いドレスを「カンドウーラ」と呼びますが、このカンドウーラは現地製3200円～5000円程度で、日本製では9000円前後で流通、やはり、ここでもジャパン・クオリティで、着心地が違いうらしく、価格の高い日本製が好まれているらしいです。見上げたもんです日本製。

